

2023年度 伏虎義務教育学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 古田清和

作成日 2023年 5月1日

別紙1-2

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・自分の生き方(将来の進路や職業など)をしっかり考えられる人になってほしい。
- ・子供が毎日楽しく学校に通ってほしい。
- ・自分の住む地域のことを知ってほしい。
- ・挨拶ができる子になってほしい。

【学校教育目標】

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持って
たくましく生きる人間の育成

【めざす子供像】

心豊かで、思いやりのある優しい子供
進んで学び、しっかり考える子供
健やかに、たくましく生きる元気な子供

前年度の学校評価

- ・学校は子供と向きあって話しかけ、話のキャッチボールをたくさんしてほしい。
- ・教室内は綺麗で、子供たちは挨拶ができています。
- ・子供の頃から、タブレットを活用した学習や職場体験などキャリア教育は、将来に役立つ。
- ・感染症が終息したら、地域、各連合自治会などと協力して伏虎を盛り上げてほしい。

子供の实態

- ・時間を守って行動ができています。
- ・穏やかに優しい子供が多い。
- ・主体的に学習に取り組む姿勢がやや弱い。
- ・気持ちの良い挨拶ができる子供が多い。
- ・テレビ等の視聴や携帯電話の使用時間が長い。

重点目標

進んで学び、しっかり考える子供

- ◎主体的・協動的・探究的な学習の充実
- ◎外国語教育、理数教育の充実
- ◎個に応じた指導、わかる授業の実践の徹底
- ◎言語活動(ことばの力)の充実

心豊かで、思いやりのある優しい子供

- 体験活動の充実
- 道徳教育・人権同和教育の充実
- ◎自主的・実践的活動の推進

健やかに、

たくましく生きる元気な子供

- 特別支援教育の充実
- 基本的生活習慣の確立
- 健康安全教育の推進
- ◎キャリア教育・進路指導の充実

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 地域資源の活用推進
- 地域行事やボランティア活動への参加

具体的な取組

- 研究発表会の開催、校内での実践発表、相互参観を通して、学校全体の授業力向上を図る。
- 「わかやま創造科」を通して、主体的に学ぶ力、協働的に学ぶ力、探究的に学ぶ力を養い、未来をきり拓く力の育成を図る。
- 1年生から外国語活動に取り組み、「生きて働く外国語」を身に付けさせる。
- 教科担任制(外国語、算数、理科)を導入するとともに、指導方法の工夫改善を進める。
- 電子黒板やGIGA端末等のICT機器の有効活用を進める。
- 「ことばの力」を重視し、書くこと、読むこと、伝えることを大切に学習を進める。

- 総合的な学習の時間や特別活動の時間等において、子供が主体的に活動できる魅力ある学習活動を充実させ、自己有用感の育成・向上に努める。
- 運動会や学習発表会等を通して、豊かな人間関係を構築し、人権を尊重する態度を育てる。
- 朝の一斉掃除を通じて、勤勞の喜び、協働の大切さなど、力をあわせて生きることの大切さを感じとらせる。
- 児童生徒会(6年生～9年生)の活動を通じて、集団の一員として、よりよい学校生活づくりに参画し、問題を解決しようとする態度を育てる。

- 子供の個性を全教職員で共有し、連続性と一貫性のある特別支援教育の充実を図る。
- 規律ある教育環境の中で、自らを律する力を高める。「時を守り、場を清め、礼を正す」を行動規範として実践する。
- 食育を通して、生涯にわたって健康や安全に留意できる態度や素地を養う。
- 子供が希望をもって、自立的に未来を切り拓いて生きていくことができるよう、組織的・系統的なキャリア教育を推進する。
- 地域における様々な職業人と関わる機会を積極的に設けるなど、将来の生き方に対するモデルを提示する。

- 各種便り、HPを通して積極的に学校の情報を発信する。

- 学校運営協議会と連携し、地域人材の協力を得ながら、魅力ある学習活動の充実を図る。

- 地域で開催される行事や地域のボランティア活動への参加を促し、公共心を高める。

指標

- ・毎日の勉強がわかる。(前期児童95%)
授業は楽しく分かりやすい。(後期生徒90%)
- ・話し合いを通じて考えを深め広げる。
(前期児童・後期生徒80%)
- ・資料や文章、話の組み立てを工夫して発表できる。
(前期児童・後期生徒80%)

- ・学校が楽しい。(前期児童・後期生徒95%)
- ・友達と仲良くしている。
(前期児童・後期生徒95%)
- ・そうじを一生懸命している。
(前期児童・後期生徒90%)
- ・誰にでもあいさつができる。(前期児童90%)
- ・気持ち良いあいさつをしている。(後期生徒85%)

- ・自分の将来の進路や生き方について考えることができている。
(後期生徒90%)
- ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(前・後期保護者90%)
- ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。
(後期保護者80%)

- ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。
(前期・後期保護85%)